

令和4年度 予算

一般会計
185.4億円

～「市民の前向きな空気感」と「地域経済」の復活を目指して～

令和4年度はコロナにより停滞した状況から全国的に動き出す人流の取り込みと、地域活動の着実な実行および地域資源の掘り起こし等をテーマとしました。そして「みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち」の実現に向けて3本の重点柱を立て、さらなる感染対策を行いながらも、さまざまな経済活動、地域活動を本格的に再開させていく年になるよう努めてまいります。

【第1の柱】 積極的な地域振興

コロナ禍で止まっていた観光・地域振興施策の着実な実行とコロナ禍の知見を活かした「積極的な地域振興」により元気な飛騨市をつくります。

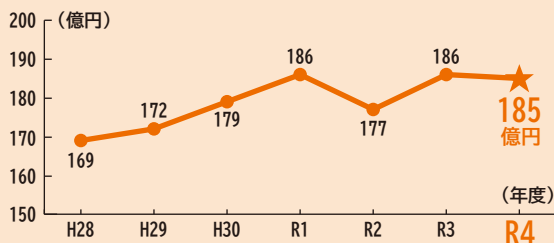
【第2の柱】 未来に繋ぐ地域資源の保全

これまで大きな政策として取り組めていなかった環境や景観など「未来に繋ぐ地域資源の保全」により市民の誇りを醸成します。

【第3の柱】 特色ある政策の深化

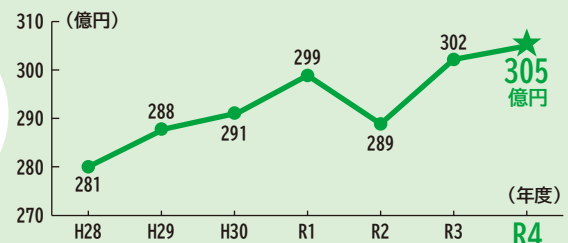
これまでも取り組んできた弱対策など、飛騨市の「特色ある政策の深化」によりあんな飛騨市をつくります。

一般会計 185億4,000万円
【過去6番目の規模】



これまでの
予算全体の
状況

全会計 304億7,000万円
【過去5番目の規模】



◎特別会計・企業会計予算について

会計区分・会計名		予算額	前年比
特別会計 ポイント	医療費の増加が見込まれる国民健康保険で0.7億円増額。下水道事業における管渠（かんきょ）および処理施設の耐震化事業やマンホールトイレ整備などで2.2億円増額。	90億600万円	+3.2億円
	国民健康保険	28億9,940万円	+0.7億円
	後期高齢者医療	4億4,600万円	+0.3億円
	介護保険	33億6,600万円	+0.1億円
	公共下水道事業等下水道5事業	19億7,940万円	+2.2億円
	駐車場事業／情報施設／給食費	3億1,520万円	-0.1億円
公営企業会計 ポイント		29億2,644万円	+0.6億円
<水道事業>水道水の安定供給のために既存施設・機器の計画的更新。 <病院事業>円滑な診療体制に不可欠なMRI機器および人工透析装置を更新。	水道事業	8億2,705万円	-0.5億円
	国民健康保険病院事業	20億9,939万円	+1.1億円

◎一般会計予算について

歳入のポイント

市税 35.7億円 (前年比 +2.6億円)

※市民の皆さんに納めていただくお金

固定資産税はコロナによる軽減措置の終了や小水力発電施設に係る「わがまち特例」軽減適用期間終了による大幅な増収、市民税はコロナ影響の収益減少幅が小幅であること、主要企業の業績回復などを見込みました。

**地方交付税 67.0億円** (前年比 △3.0億円)

※国から交付されるお金

地方交付税については、国の一般財源総額は確保されているものの、算定において影響が大きい公債費の減少と市税の増収が見込まれることを勘案し、前年より減としています。

**繰入金 18.1億円** (前年比 +4.5億円)

※貯めてきた貯金を取り崩して入れるお金

障がい者グループホーム整備に福祉事業基金から3.1億円、美術館空調改修に文化・交流振興基金から0.8億円など、ハード整備に活用します。

**市債 12.3億円** (前年比 △3.1億円)

※新たに借りるお金

神岡小学校大規模改修や美術館空調等大規模改修に1.8億円計上したものの、国と地方の財源不足折半ルール解消に伴う臨時財政対策債の大幅縮減等の要因から前年より減としています。



歳出のポイント

人件費 31.9億円 (前年比 +0.1億円)

※市の職員にかかるお金

人事院勧告による期末手当の減額の一方、消防団員の報酬改定の増などから前年より増となりました。

**公債費 24.5億円** (前年比 △2.9億円)

※これまでの借金で令和4年度に返すお金

古川小学校建設事業や神岡給食センター整備事業などの過去に発行した市債の償還が順次満了するため、前年に比べ2.9億円の減となりました。

**補助費等 17.7億円** (前年比 +1.1億円)

※個人や団体が行う事業への補助金や交付金など

ふるさと納税を活用して交付するソーシャルビジネス支援交付金や担い手農業者がスマート農業技術を導入する際の支援補助金等計上しました。

**普通建設事業費****25.6億円** (前年比 +2.1億円)

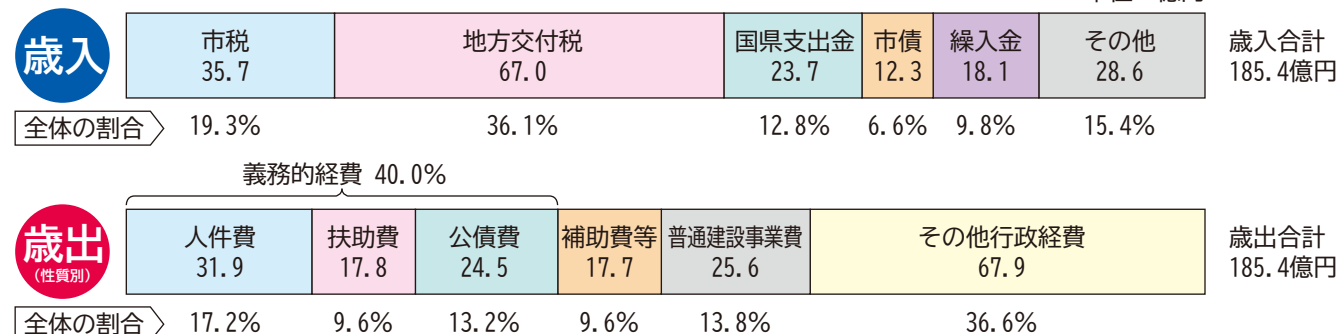
※道路や施設整備等建設にかかるお金

障がい者グループホーム整備やハートピア古川の空調設備改修など、大型建設事業が集中することから、前年より増となりました。



■予算の全体を表したグラフ

単位：億円



予算の概要・各主要事業の詳細内容は市ホームページでもご覧になれます。

問 財政課 ☎ 0577-62-8903

令和4年度の

主 要 事 業

主要事業の詳細や
その他の事業は
市ホームページで
もご覧になれます



～主な事業の概要と予算額を紹介～

重点政策 No.1

積極的な地域振興

コロナ禍で2年止まっていた観光・地域振興施策の着実な実行とコロナ禍の知見を活かした「積極的な地域振興」により元気な飛騨市をつくります。



TEAM

「まちづくり観光課」の設置

地域資源の発掘からブラッシュアップ、プロモーションまでを一括してプロデュースするため、地域振興課のまちづくり部門と観光課を統合し「まちづくり観光課」を設置。

NEW 神岡町鉱山資料館のリニューアル基本設計

841 万円

有識者や市民が参加する検討委員会を設置し、コンセプトや展示内容等の検討を行うとともに基本設計を実施。

NEW 神岡城の江馬氏関連展示リニューアル

1,000 万円

江馬氏の歴史や価値を伝える詳細な解説パネルや考古資料を設置するなど展示をリニューアル。

NEW 飛騨古川まつり会館の誘客対策

550 万円

200円割引券を飲食店や宿泊施設、近隣地域へ配布し、地域一体で誘客するほか、4Kシアターを活用した映画上映会を開催。

NEW 天生の森と止利仏師企画展等の開催

256 万円

止利仏師に関する講演会のほか、歴史解説、飛騨の匠の道具等を展示する企画展、伝説の舞台となった天生の森ツアーを開催。

NEW 食の大使による食の総合プロデュース

219 万円

元フランス大使館公邸料理人である「食の大使」により、市内旅館・飲食店の食の魅せ方講座や家庭向けに公邸料理教室などを実施。

NEW 首都圏や北陸・中京圏での特産品販路拡大

300 万円

六本木や有楽町など首都圏において飛騨の魅力を体験・体感できるサロンを常設するほか、北陸の商業施設で観光物産展等を開催。

重点政策 No.2

未来に繋ぐ 地域資源の保全

これまで大きな政策として取り組めていなかった環境や景観など「未来に繋ぐ地域資源の保全」により市民の誇りを醸成します。



NEW 豊かな自然資源の保全と活用

500 万円

深洞湿原や白木峰等の現地調査や市民モニターツアーにより課題を洗い出すほか、今後の活動の中核を担う人材を外部から登用。

UP 天生湿原の保護調査と環境整備

1,317 万円

湿原の陸地化調査や天生峠駐車場トイレの簡易水洗化を行うほか、令和3年度からの2年計画によるサイン整備を引き続き実施。

UP 池ヶ原湿原の獣害対策と環境保全

880 万円

岐阜大学との連携により電柵設置や保全計画の策定。外来植物種子侵入防止の靴洗い場の設置、ヨシ刈り等の保全作業を実施。

TEAM

自然資源の保全・活用の
ヘッドクォーターを「まち
づくり観光課」に

各振興事務所が担っていた湿原等自然資源の保全・活用を統括し、自然資源の掘り起こしと保全活用を行う総合プロデュースをまちづくり観光課が担当。

TEAM

鳥獣害対策業務を林業振興
課に集約し体制を強化

総合的な鳥獣害対策を推進するため、防除を担当する農業振興課と捕獲を担当する林業振興課の業務を統合し、推進体制を強化。

重点政策 No. 3

特色ある
政策の深化

これまでも取り組んできた弱い立場の方への支援など、飛騨市の「特色ある政策の深化」によりあんき（安心）な飛騨市をつくります。



TEAM

「総合福祉課」の設置

地域生活安心支援センターにおける総合相談機能との密な連携が求められる障がい福祉課と地域包括ケア課社会福祉係を統合し、障がいのある方や生活に困難を抱える方のほか、子どもから大人までのあらゆる困難事案に一元的に対応する「総合福祉課」を新たに設置。

NEW 古川の町並み景観保全活動

109 万円

飛騨古川市街地に暮らす若手の研究会を発足し、有識者の指導のもと意識の醸成を図りつつ、研究成果をまとめた小冊子を発刊。



UP 古川町市街地の無電柱化

9,900 万円

市道大横丁線の無電柱化への現地調査を実施。市道吉之町線工事を継続するとともに、周辺景観に調和した街路灯整備に着手。

NEW 荒廃農地の未来を語る座談会の開催

200 万円

荒廃農地対策としてモデル地区を選定し、「守り残していくべき農地」を地域と一緒に考え、専門家を招いて課題の洗い出しを実施。

UP ひとり親家庭の生活・就労の支援

705 万円

令和3年度の実態調査の結果から、宅食クーポン交付や家事支援、高校入学時の準備品支援補助の上乗せ等を新たに追加。

UP 杉崎公園など子どもたちの遊び場の整備

8,680 万円

杉崎公園の遊具リニューアルのほか、新たにインクルーシブ遊具の導入、千代の松原公園の再整備に向けたニーズ調査を実施。

UP 障がい者グループホームの整備

4億1,510 万円

旧養護老人ホーム和光園を改装し、障がい者グループホームを整備するとともに、運営予定の事業者の人材育成を支援。

NEW 名古屋大学との連携による公共交通の研究

647 万円

公共交通の専門的な知見を有する名古屋大学との共同研究を実施するとともに、人材育成のための短期人材交流を実施。

UP 高齢者等買い物弱者の支援

400 万円

移動販売事業者への運行補助等のほか、山之村地区をモデルとして路線バスを活用した貨客混載の実地検証を新たに実施。

UP 医療・介護・福祉人材の確保

1,230 万円

これまで市が全国でも先進的に取り組んできた医療・介護・福祉人材の確保対策に、介護ヘルパーと薬剤師の確保対策を追加。

元気

地域外から
所得を稼ぎます

UP 薬草を活用した拠点や商品づくり

市内各入浴施設を活用した薬草風呂やワークショップ等を実施するほか、薬草入浴パックの商品化等を推進。

431 万円

UP 農産物直売施設での農産物販売促進

7月オープン予定の上町農産物直売施設において、食に関するイベント等を実施するほか、集荷体制や品揃えを強化。

182 万円

NEW 森林環境譲与税を活用した森林施業

譲与税を活用し、集落が取り組む森林保全管理や民間事業体が主体となった広葉樹天然林の施業、森林作業路の整備等を支援。

2,400 万円

UP 事業承継サポート体制の強化

市ビジネスサポートセンター内に、新たに事業承継サポートセンターを開設するほか、事業継承セミナーを開催。

※ビジネスサポートセンター事業の総額 534 万円

UP スマート農業の推進

市内各地の気象データを取得するセンサーや生育状況を把握するシステムを導入するほか、担い手農業者の機器導入を支援。

2,265 万円

NEW 市ファンクラブサポートセンター開設

node（ノード）と宙ドーム神岡にファンクラブサポートセンターを開設し、会員来訪時の情報提供や会員特典の対応を実施。

0 万円

NEW 市ファンクラブ会員向け特産品の販売

ファンクラブ会員限定ネットショップを開設し送料を支援するほか、市内事業者が実施する会員向け通販の送料も支援。

750 万円

あんき

市民の安全・安心を守ります

NEW 空家住宅の除却支援と市内空家の調査

個人・行政区等が空家を解体する際の費用を補助するとともに、市内全域の空家を調査しデータベース化。

900 万円

UP 集落有集会施設解体や倉庫整備支援

新築等の支援に加え、解体費用の支援を新たに追加するほか、付属する倉庫等の整備についても支援対象に追加。

567 万円

NEW 継承者がいない遺骨等の市営合葬墓整備

市営墓地の継承者がいない遺骨や経済的に墓の建立が困難な方等を対象とした合葬墓を市営墓地内に整備。

286 万円

NEW 防災ハンドブック等の作成

防災の最新情報を掲載したハンドブックや、自宅での垂直避難時の対応チラシ、中小河川洪水ハザードマップを作成。

658 万円

NEW 神岡地内消雪設備増設にかかる概略設計

令和2年に実施した既存井戸の揚水量調査により、全路線の整備が困難であることから、地元住民と一緒に路線選定を行い概略設計を実施。

500 万円

NEW ごみ出し支援アプリの導入

ごみ分別やカレンダー機能を搭載し、自身の登録地区に対応したごみ出し日の通知などが行えるスマホアプリを導入。

35 万円

誇り

市民の自慢につなげます

★NEW 再生可能エネルギーの利活用研究

再生可能エネルギーの利活用方法、市内産で地域外消費の再エネの付加価値化等に関する研究を実施。

30 万円

★NEW 地域部活動化等による部活動環境整備

一部の部活動の試験的な地域部活動化を実施するほか、指導者バンクの設置、大会遠征支援等を実施。

909 万円

★NEW ジュニアスポーツ活動支援

ふるさと納税を活用し、ジュニアスポーツの活動や機材購入について、各団体の人数に応じ団体に補助。

560 万円

★NEW 児童生徒が自ら取り組むプロジェクトの支援

児童生徒と地域や学校の連携・協働により企画し取り組むプロジェクトに対し支援。

100 万円

★UP 飛騨市美術館の空調等大規模修繕の実施

空調設備の更新、収蔵庫の防湿対策、入口バリアフリー化、トイレのユニバーサル化、研修室の内装改修などを実施。

1億5,900 万円

★NEW 市指定文化財「旧中村家」修復設計

茅葺きが損傷した旧中村家について、職人や地域の方々等と検討会を開催し、その結果を踏まえた調査設計を実施。

286 万円

小粒でもキラリと光る 飛騨市おもいやり予算

市民の皆さんの生活の質の向上や、
誇りの醸成につながるような予算を計上

★NEW プロ野球親子観戦ツアーの開催

ふるさと納税を活用し、普段プロスポーツに接する機会の少ない子どもたちを、バンテリンドームの中日ドラゴンズ戦に招待するツアーを実施。

160 万円

★NEW ゴミの回収体制の強化

神岡町の民設民営リサイクル積替え保管施設の日曜日開所を試行実施するほか、民間事業者による粗大ゴミ回収サービスについて高齢者世帯の利用料を支援。

159 万円

★NEW 子どもたちのスケートボードエリア整備検証

市内4カ所の実証実験エリアを設定し、近隣住民および市内スケートボード愛好家の協力を得て、本格整備に向けた騒音や路面の滑走性等の検証を実施。

100 万円

★NEW 高齢者見守り支援システム実証実験

一人暮らし高齢者世帯等を対象に、実証モニターとして見守りシステムを数種貸与し、有効性等を検証するほか、結果周知を兼ねた体験展示会を開催。

90 万円

★NEW 高齢者を対象としたスマホ教室の開催

各地域におけるスマホの市民指導員の養成と、その指導員が小単位で高齢者向けスマホ講座を開催する体制を整備。

200 万円

★NEW 公立保育園における看護師の配置

感染症の早期発見や感染対策時の保育士への指導、慢性疾患がある園児への対応等で公立保育園3園をサポートする看護師1人を宮城保育園に配置。

417 万円

★NEW 助産師の訪問による産前産後サポート

産後にサポートが必要な妊婦に対し、助産師が産前から居宅を訪問し、心身にかかるさまざまな支援を個別に行うアウトリーチ型のサポート体制を整備。

12 万円